

第2回学校運営協議会議事録

1 日 時

令和4年8月26日（金） 14時30分～15時30分

2 場 所

本校リスニング室

3 出席者

委員14名（大学教授等、接続する学校の職員、自治会代表、PTA代表、同窓会代表、行政関係、校長、副校長、事務長、経営企画課主任、総務課主任、教務課主任、進路指導主事） オブザーバー5名（生徒会執行部3名（会長、副会長、総務）、生徒指導課副主任、三高祭担当） 視察4名（岩手県教育委員会事務局）、取材3名（創立60周年記念誌編集担当）

4 内容

（1）開会の言葉

【経営企画課長】開会に先立って資料確認をお願いしたい。

（2）会長挨拶

【会長】お忙しい中ご参加いただき、また資料作成ありがとうございました。生徒の皆さんも文化祭が気になる場所参加していただいております。

この会議は、学校をよりよくするための会議である。今もいい学校だが、さらによりよくしようとする意欲がいいと思う。最後の資料にある通り、委員も魅力化共同パートナーとして参加している。今日は協議事項がなく意見交換のみだが、時間が許す限り活発な意見交換を期待している。

（3）学校長挨拶

【校長】平日の午後のお忙しい中、また、コロナ禍の中ご参加いただきありがとうございます。三高祭を見ていただいた方もおり、ありがとうございます。

三高では学校運営協議会2年目だが、まだ試行錯誤段階である。年度始めは学校運営計画を承認いただく役割、年度末はその年度の計画が達成されたのかという評価、今回は全く自由にご意見をいただける場である。今日まさにやっている三高祭と本校の大きな特色である参加型授業をテーマにした。前回に引き続き生徒にも参加してもらっている。開かれた学校づくりということを謳っている以上、生徒が全く知らない場で進むより、生徒も入れて会議を開催した方がよい。そのような学校は多くないようなので、本日は県教委から視察が来ている。よろしく申し上げます。

(委員紹介 菅野副校長)

(4) 報告と意見交換

① コロナ禍に置ける三高祭について

【生徒指導課副主任】今開催している三高祭までの経緯を簡単に説明し、詳しいことは担当者から説明する。当初は明日明後日開催の予定であった。一般公開も考えていたが、6月の段階でコロナの収束の目処が立たないということで、職員会議などで先生方の意見をいただきながら再検討した。6月下旬に臨時職員会議を開き、7月頭には骨子案を完成させた。開催は平日の1日開催で。一般公開なし。外部からは3年生の保護者の方のみ見学いただくことにした。4年前の三高祭をベースにしたかったがそれも叶わず、今の3年生も1年生の頃から三高祭独自の取り組みを知らないので戸惑いもあったが、ご覧いただいた通り生徒たちは頑張ったと思う。この後3時から撤去作業があるので、説明が終わったら退席することをご了承ください。

【文化祭担当】令和4年度に於ける在校生の最大の特徴は1～3年生の全員がコロナ前の三高祭を知らないことだ。3年生が1年生の時は「おおとりフェス」として体育大会との抱き合わせで行った。昨年度も本来の賑わいとは程遠い形で映像を駆使して文化祭を行った。今後は三高祭が持つ教育的意義ということを考え、コロナ前の文化祭を体験させたかった。しかし、ただ過去に戻るのではなく、ウィズコロナということで未来を見据えた開催を考えた。資料には今年度の実施要項が載っている。4～5ページをご覧ください。このようなタイムスケジュールで行った。目立つものとしては、各文化部委員会の展示企画、2学年、3学年の展示企画である。クラス企画といっても何をしたいのか、どこから手をつければいいのか、何に配慮すればいいのか苦戦したが、なんとか開催まで漕ぎ着けることができた。本校の教育目標、育てたい生徒像にある通り、「これからの時代のリーダーとなる、自主性に富んだ人間」を育てたいと思っている。踏襲が難しい三高祭に於いて、何を最上位目標にしなければならないのか、ということとは三高祭実行委員に当初から言ってきた。一般公開が難しいのであれば、在校生が楽しむような文化祭にしようということを実行委員の中で合意形成が図られた。経験がないところから対立や困難が生じたが、対立を乗り越える、対話においてコンセンサスを乗り越えることが大事だということを日々の指導を通じて伝えてきた。その都度困難を乗り越え本日を迎えられた。特にコロナ対策としては換気・消毒の徹底、かつ柔軟にフレキシブルに対応してくれたと自信を持って言える。3時からの撤去作業でも自分たちで考えながら自主性に溢れる行動を取ってくれるだろう。

来年度以降は今年できなかった飲食についても検討したい。

【経営企画課長】皆様からご質問いただく前に生徒目線で、生徒から語ってもらいたい。

【生徒会長】先ほど先生方から説明があったが、私もその通りだと思う。今までの中・高の行事の中で一番楽しかった。体育祭であれば一つの種目、決められたものに向かって取り組んでいく。文化祭、特にクラス行事であればどんなことをやればお客さん来るかな、どうすれば楽しいかなと、ゼロから作っていく。話し合っただけでは崩れて、そして作っていく。過去との比較ができない世代だが、ネガティブに捉えるのではなく、自分たちがやっている文化祭が文化祭なんだ、今充実しているからという吹っ切れた感情、コロナ禍で頑張った充実感によって廊下にも笑顔があふれているのではないかな。

生徒会としてもみんなが熱心に取り組んでくれていて満足感があるし、個人としても今まで話したことがない人と話せたり、三高祭がなかったらできなかった体験ができた。明日以降の日常もよりよくなっていくのではないかな。

【経営企画課長】 ご意見ご感想をお願いしたい。

【委員】ウィズコロナという現状でも、やっていただいてよかったと思う。三高の文化祭は本当に伝統があって、娘が在学中はPTAの方でお手伝いさせていただいた。それが経験できないのは残念なことだと思っていたが、文化祭自体を経験できてよかった。集う人の数が違うので縮小した形ではあるが、生徒さんたちが元気である。作品も一つ一つ素晴らしかった。残念なのは地域の方達であろう。文化祭を楽しみにしている子ども達もいて、三高に憧れるきっかけにもなっていた。そこがないのが残念だ。先生方にも工夫していただいて、何かの形で地域に伝えられるようにしてほしい。生徒会長がネガティブにとらえずに新しい形を作っていくんだとおっしゃっていたが本当にその通りだ。応援していきたい。

【経営企画課長】他にありませんか

【委員】息子は大学2年なので、2～3年の時はできなかった。先生の説明の中でよかったと思ったのは、第一の目的は在校生が楽しむことだということである。地域への公開もメリットはあるが、一番は生徒なので、生徒が楽しめてよかったと思う。

【経営企画課長】他に何かご意見ないでしょうか。

【委員】私もかつて生徒としてここにお世話になって、懐かしい思い出が蘇ってきた。こういう状況下で文化祭をやるという先生方の決断は素晴らしいことだと思う。こういう体験はみんなで作りに上げることなので、頑張ってもらいたい。コロナのことを気にしすぎると何も進まないのだから、体験できる機会をいただいたという感謝と、生徒の皆さんの

頑張りが素晴らしいと思う。生徒会長さん、企画するという楽しみをわかって、これから成長していくためのいい体験だと思って色々頑張ってもらいたい。

②参加型授業について

【経営企画課長】 次の話題に移らせていただく。資料は6ページから。

参加型授業の定義を確認させていただく。資料7ページにある通り、「全員が、50分間、主体的・協働的に取り組み、深い学びをもたらす授業」である。こういった授業を全員で目指し、授業改善を目指している。

取り組み方針について。こちらは第1回の会議で承認いただいた学校経営計画から抜粋している。①教員がお互いに授業を見合う互見授業、②参加型授業通信の作成、③SRH事業の取組である。④校内研修体制ということで、全職員で一人年1回は研究授業を開催している。見学したものを参加型授業通信にまとめて授業力改善につなげている。10ページ以降の資料に入っている。今年度は16ページ以降の7号まで発行されている。昨年度の公開授業については2021年度の通信も数部紹介している。生徒授業アンケートとして年2回生徒のみなさんからアンケートを実施し、これを授業の改善につなげている。

参加型授業通信については、今年度は様々な視点での通信が出ていて、例えば第3号では自宅待機の生徒がいた際に工夫した方法を紹介したり、第5号、第6号では岩手県の目指す授業の方向性などをどのように授業に取り入れるかを紹介したりしたものもある。

本日は授業を見ることはできないが、少しでも様子が伝わればと思い、資料に入れた。見ていただいて、ご意見ご感想をいただきたい。先に、実際に授業を受けている生徒から感想をいただきたい。

【生徒会副会長】 私の中学校は八幡平市にあり、盛岡より非常に人数が少ないので、クラスの一人一人と結びが強く、話し合いの回数が多いと他の学校の友人から聞いていた。しかし、4月に入学して三高の授業を受けてみると、中学校よりも多い。話し合いを通して自分の回答のズレに気づいたり、他の人に教えたりすることができる。将来につながる話し合いになっていると思う。また、タブレットを使う機会が増えて、他の人の回答をすぐ共有できるので、次の機会につなげることができるので、三高に入学して感じた。

【生徒会総務】 三高に入学して授業を受けてみて、中学校に比べてペアワークやICT活用が多く、授業に関心を持って物事を考えることができる。授業に対するモチベーションが下がることなく集中して取り組むことができている

【経営企画課長】委員の皆様、ご意見ご質問をお願いしたい。

【副会長】義務教育の立場から見ても、大変素晴らしい取り組みだと思っている。小中学校の方でも探究する学びを行い、授業改善を図っているが、その先の高校に、子ども達主体の学びが準備されているということを知る機会が少ないと思った。わかっているのであれば、義務教育の学びもよりよいものになっていく。特に中学校の先生がこのような学びを理解して取り組むことで、高校に入ってから学びも良いものになっていくと思うので、連携が大切だ。

今、特に ICT 活用が求められている。小学校中学校での学びが生きていく、その側面にも力を入れていかなければならないと話を聞きながら思ったところである。

【委員】ちょっと教えていただきたいことがある。ICT を取り入れた授業とは具体的にどのようなことをしているのか。

【経営企画課長】授業の中で自分のスマートフォンを利用するケースと、学校では一人1台クロームブックという端末が用意されているので、それを利用する場面がある。どちらが多いか？

【生徒会副会長】例えば調べ物はスマートフォン、クロームブックはグループの中で意見を共有するために使用している。Word やロイロノートを使って全体で共有している。特にロイロノートを使い全体で見える化するためにクロームブックを使っている。

【委員】2022 年の 4 号にあるように、授業を繰り返し見直すことができるというのはいいなと思った。私の時代にもあればとうらやましく思う。

【経営企画課長】授業以外でも、teams というアプリも使っていて朝の連絡も全て teams で行っている。時間割変更やテスト範囲なども確認できる。学校の中でのスマートフォンの取り扱いのルールとの兼ね合いもあるが、生徒たちもルールを理解して効果的に使っているのではないか。

【委員】第 3 号に、自宅にいても参加型とあるが、新型コロナウイルス関連か何かで学校に出て来られない生徒さんが、自宅でリモートで参加できるような形で行っているということか。

【経営企画課長】第 3 号は私が実践したものだが、オンタイムで、授業と同じ時間に授業をそのまま配信していて、自宅にいても同じ時間割で参加できる。別の先生の実践で

は、YouTube にアップして繰り返し見られるようにしている先生もいらっしゃる。

【委員】理解度というのはどうか？生徒の実際の見解は？発言はできるか？

【経営企画課長】挙手もできる。話し合いできる授業形式ができればと思うが、そこま
では至っていない。

【委員】学校に来られなくても差が生じないようにしているということか。

【経営企画課長】そうだ。生徒の皆さんは配信授業を見たことはあるか。

【生徒会執行部】私たははない。

【生徒会副会長】先ほど、リアルタイムで対話する授業形式ができればなおっしゃた
が、英語表現の時間にそれを体験した。いつも通りなんら変わりなくスムーズに会話す
ることができた。

【会長】オンラインの授業の時に不便を感じることはあれば教えてほしい。また、自宅
にいても、という参加型は、例えば学校に来られない子どもさんへの対応はどのように
考えているか。

【教務主任】来られない生徒たちに対しても開いていて、参加は可能になっている。家
で見るとなるとスマホの画面で見るのが多く、全ての授業を見るのは疲れるような
ので、少なくとも英数に関しては見られるような体制を整えているところだ。

【経営企画課長】インターネット通信の環境は三高だと整っているが、生徒の各自宅の
ところでWi-Fi環境が整っていないと通信料がかなりかかってしまう。

他に意見質問はないか。

資料が多くて見きれなかったところもあると思う。会が終わった後でも見ていただ
ければと思う。

(5) その他

【経営企画課長】資料最終ページは本校の特色化魅力化ビジョンの概要図である。第1
回の会議でお認めいただいたスクールビジョンの概略である。作成の際に意識したの
はぜひ中学生に見て欲しいということだ。HPにも掲載している。魅力化協働パートナ
ーということで、学校運営協議会の皆様にもパートナーとなっていていただき学校作りに

協力していただいている。本来であれば SRH 中間発表会も文化祭に合わせて実施する予定だったが、こちらは明日大学の先生をお招きして2年7組が発表することになっている。こちらにも特色ある教育課程の一つとして取り組んでいるものである。見ていただいでご指摘があれば次回の会議もあるのでご意見いただければと思う。

2点目として、次年度に向けて、この会の外部委員を増やしていきたいと考えている。現在15名の委員の中で外部委員7名、内部8名である。できるだけ地域の皆さんのご意見を聞きながら学校をよくしていきたいので、適任の方がいたら次回までにぜひ考えてきていただきたい。

(6) 閉会の言葉

これを以て令和4年度学校運営協議会を閉じる。

次回は2月を予定している。近くなったら案内を差し上げる。